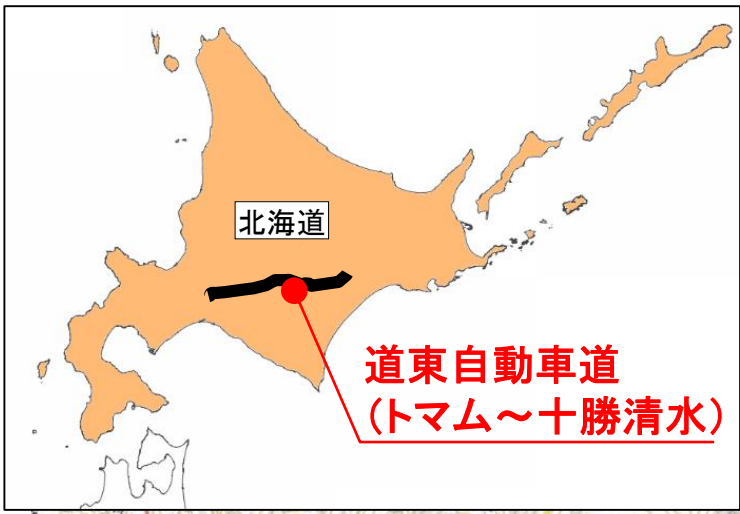


# 4車線化等の個別箇所概要

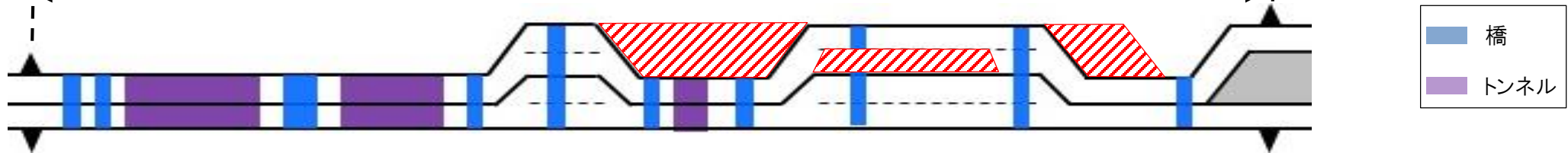
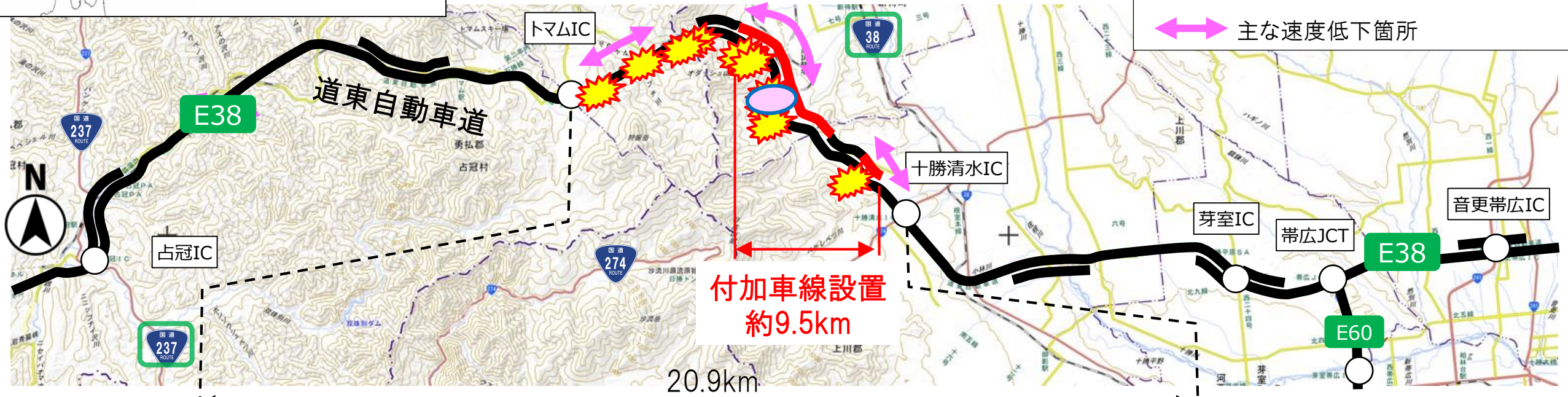
# 4車線化等の個別箇所一覧

	道路名	起終点	対策延長
1	道東自動車道	トマム ~ 十勝清水	約9.5km
2	秋田自動車道	湯田 ~ 横手	約7.7km
3	磐越自動車道	三川 ~ 安田	約5.1km
4	富津館山道路	富津竹岡 ~ 富津金谷	約3.4km
5	東海北陸自動車道	白川郷 ~ 五箇山	約2.8km
6	舞鶴若狭自動車道	舞鶴東 ~ 大飯高浜	約4.1km
7	舞鶴若狭自動車道	大飯高浜 ~ 小浜西	約7.8km
8	広島呉道路	坂北 ~ 呉	約12.2km
9	岡山自動車道	有漢 ~ 北房JCT	約3.3km
10	米子自動車道	江府 ~ 溝口	約4.2km
11	徳島自動車道	脇町 ~ 美馬	約4.8km
12	松山自動車道	内子五十崎 ~ 大洲	約4.4km
13	東九州自動車道	苅田北九州空港 ~ 行橋	約1.1km
14	東九州自動車道(宇佐別府道路)	宇佐 ~ 院内	約4.6km
15	東九州自動車道	大分宮河内 ~ 津久見	約6.0km
16	東九州自動車道	宮崎西 ~ 清武	約3.7km
合計			約85km

# 道東自動車道(トマム～十勝清水)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所



道東自動車道 (トマム～十勝清水)	
延長	: 20.9 km
開通	: H19.10.21
H29交通量	: 10,500台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 10回 (計 約181時間)
本線事前通行規制	: 90mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

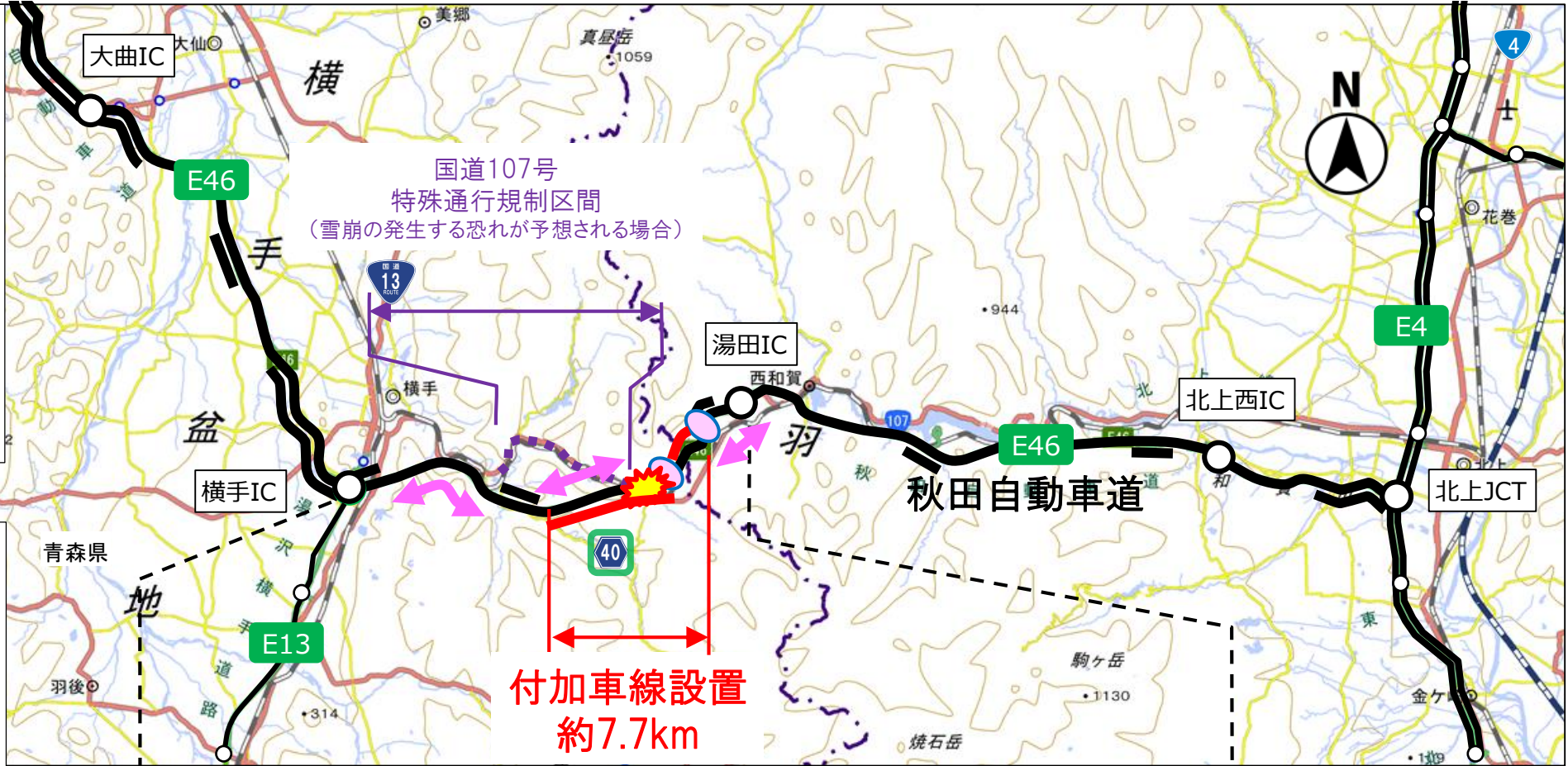
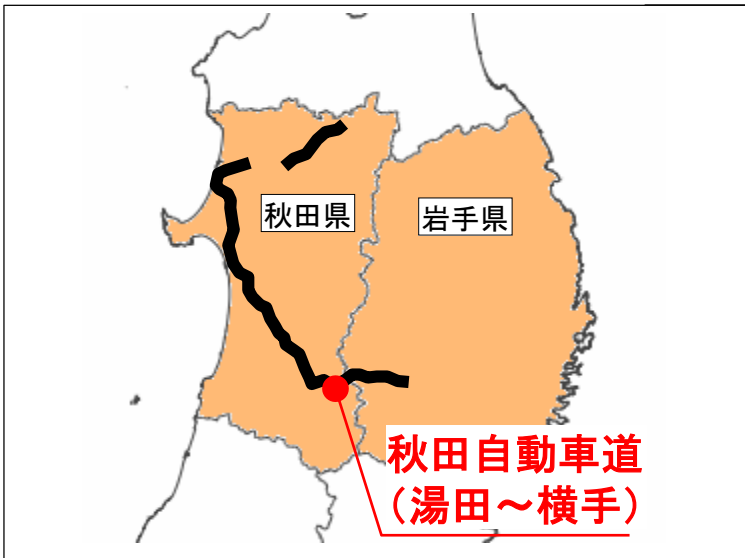
《被災箇所・法面危険箇所》



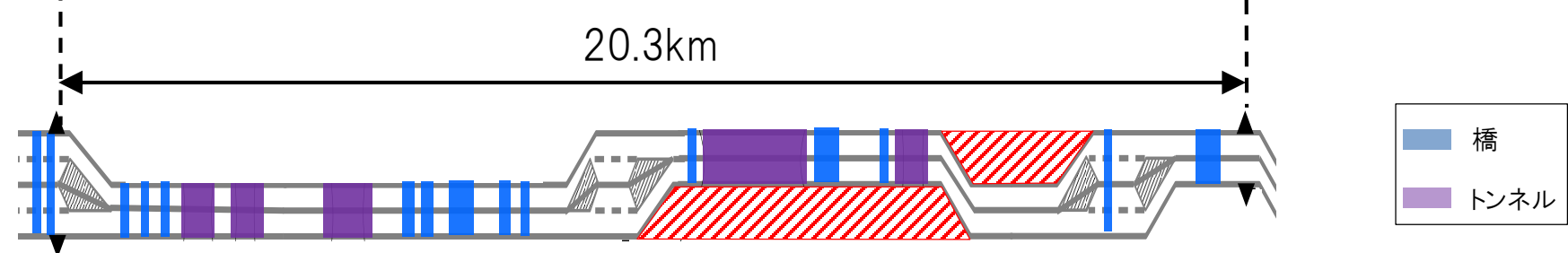
被災年月日:平成28年8月31日  
通行止め:58時間

事業費:300億円

# あき た 秋田自動車道(湯田～横手) ゆだ よこて



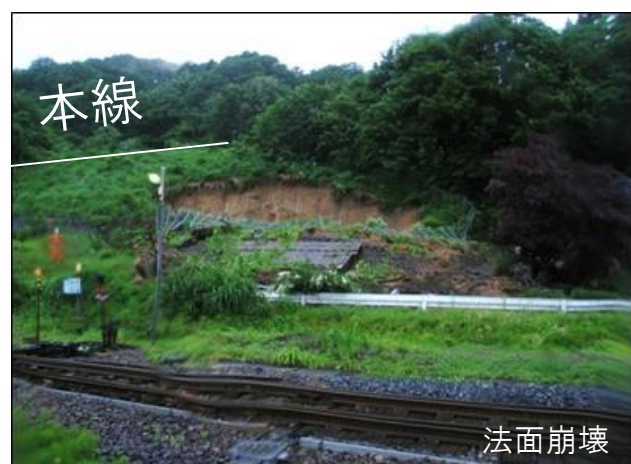
- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検 法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検 法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所



秋田自動車道 (湯田～横手)	
延 長	: 20.3 km
開 通	: H7.11.10
H29交通量	: 6,200台/日
災害通行止め実績	: 2回 (計 約44時間)
	<H15-H30>
本線事前通行規制	: 220mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

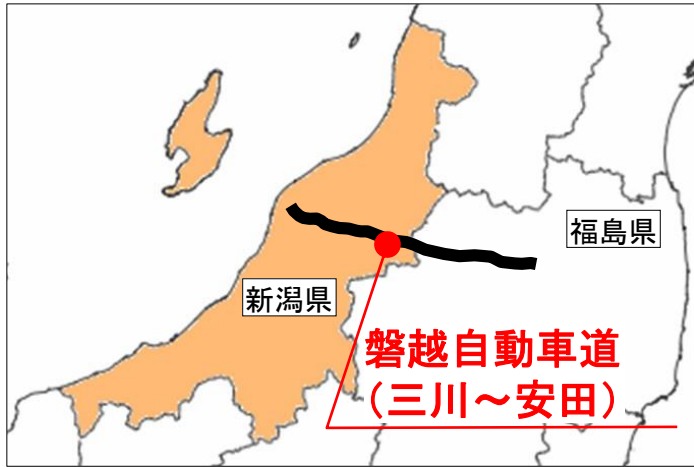
《被災箇所・法面危険箇所》



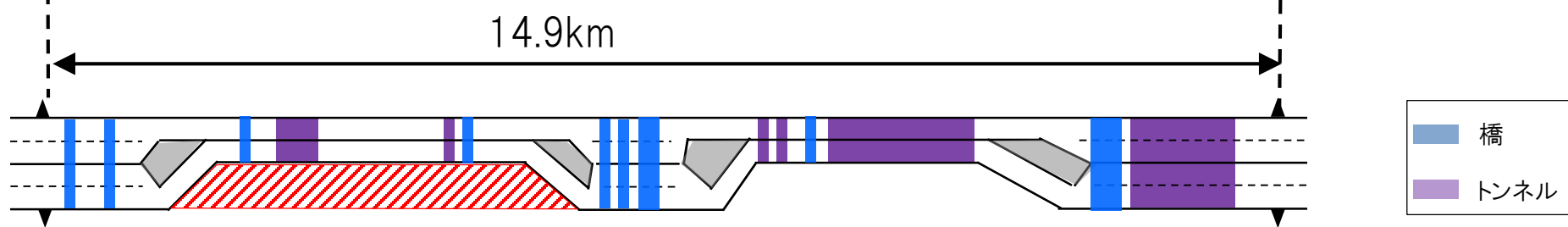
被災年月日:平成23年6月24日  
通行止め:6時間

事業費:400億円

# 磐越自動車道(三川～安田)



- 【凡例】
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所



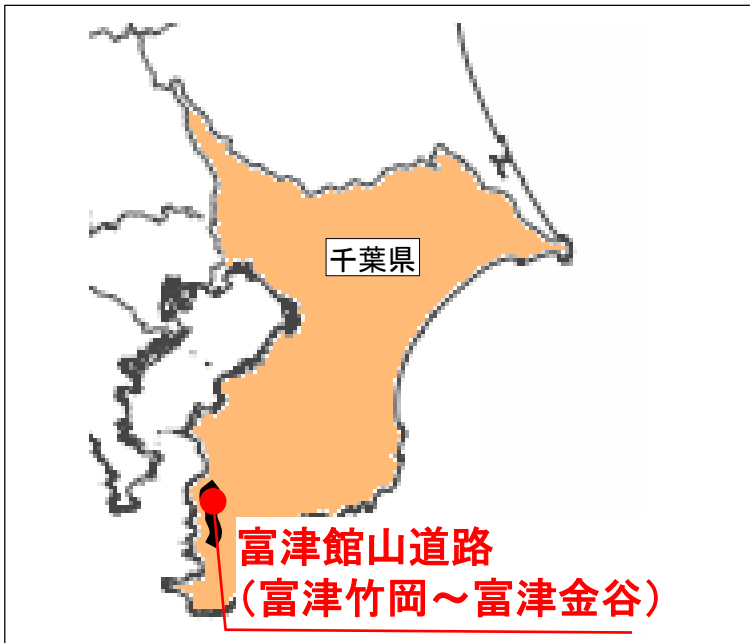
《法面危険箇所》

磐越自動車道 (三川～安田)	
延長	: 14.9 km
開通	: H8.11.14
H29交通量	: 7,000台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 0回 (計 約0時間)
本線事前通行規制	: 170mm (連続雨量)

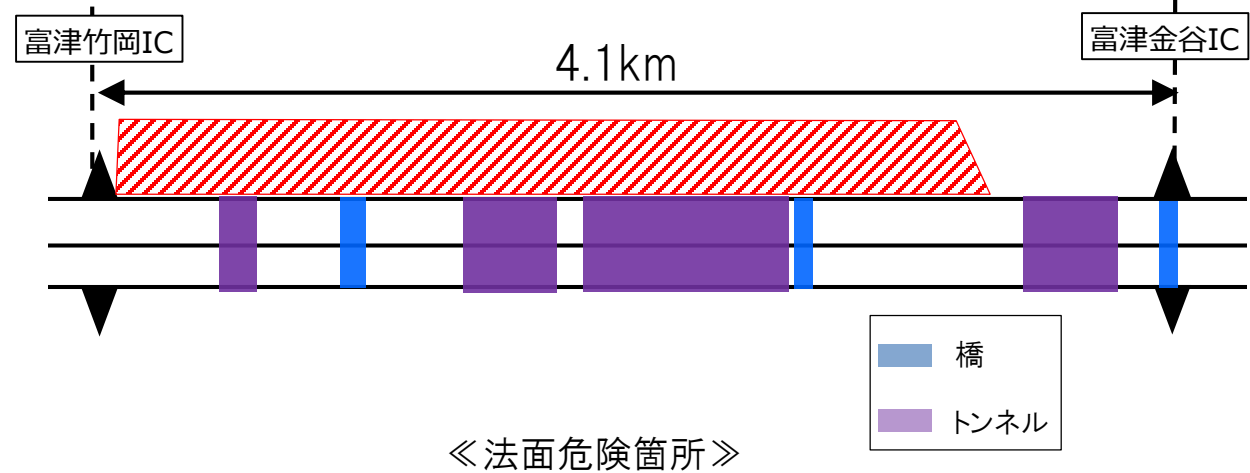


**事業費:200億円**

# 富津館山道路(富津竹岡～富津金谷)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所



富津館山道路 (富津竹岡～富津金谷)	
延長	: 4.1 km
開通	: H11.3.27
H29交通量	: 12,600台/日
災害通行止め実績	: 2回 (計約28時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 290mm (連続雨量)

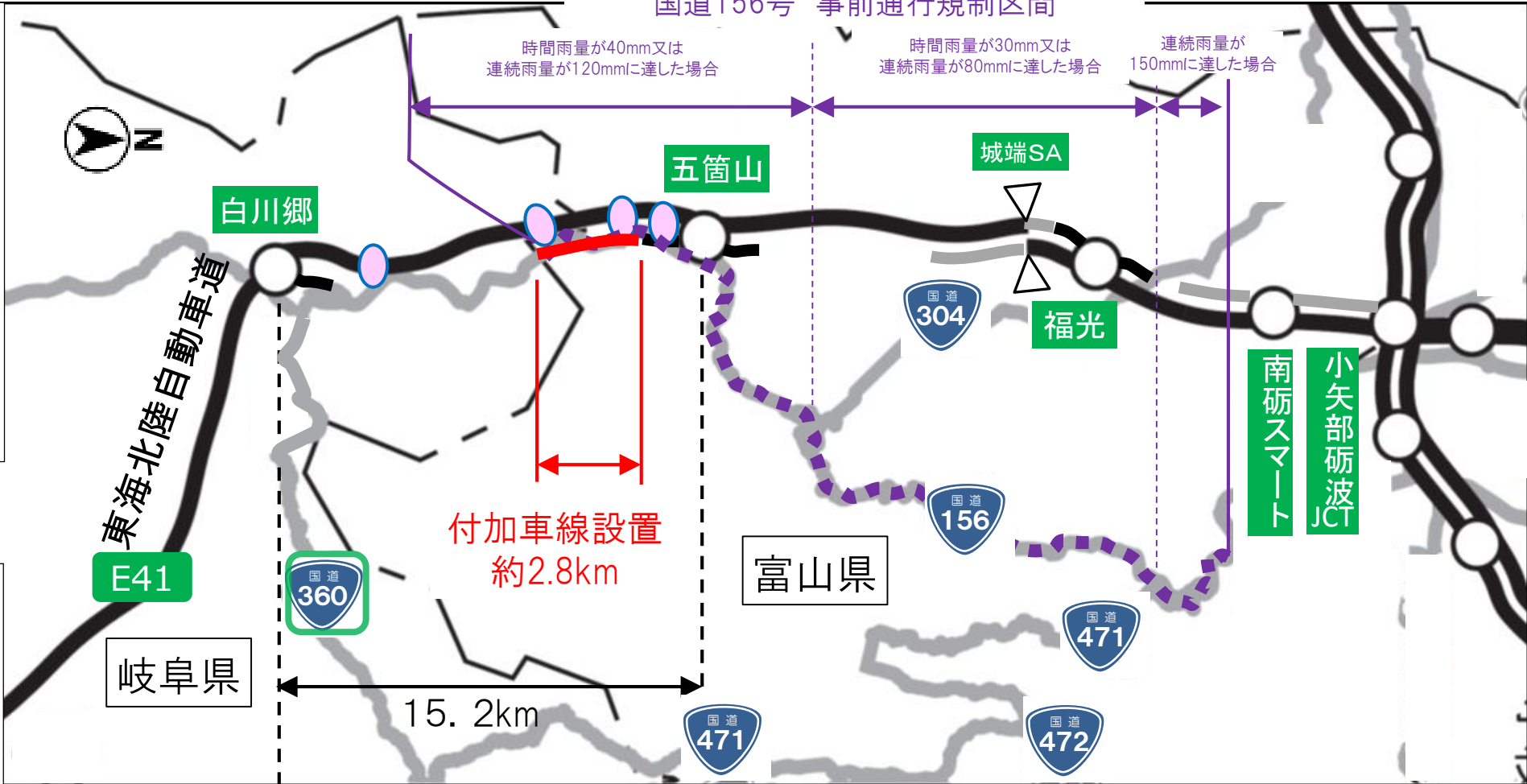


被災年月日:平成23年10月16日  
通行止め:14時間

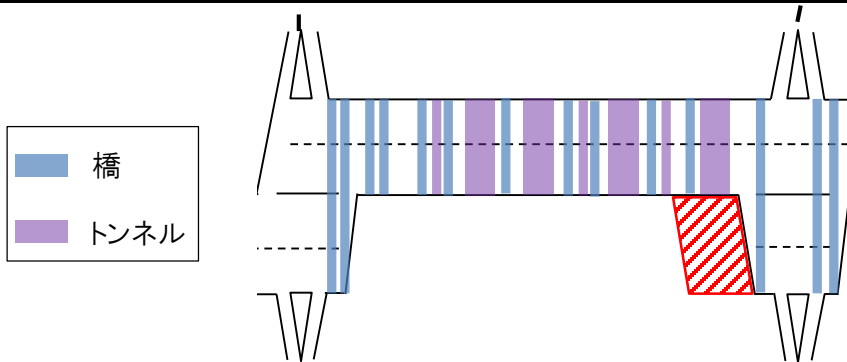
**事業費:300億円**

連続雨量はH30.6月時点のもの

# 東海北陸自動車道(白川郷～五箇山)



- 【凡例】
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 付加車線(事業中)
  - 事業箇所



東海北陸自動車道(白川郷～五箇山)

延長	: 15.2 km
開通	: H14.11.16
H29交通量	: 7,200台/日
災害通行止め実績	: 0回(計約0時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 220mm(連続雨量)



事業費: 300億円

# ひろしま くれ さか きた くれ 広島呉道路(坂北～呉)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所



広島呉道路(坂北～呉)	
延長	: 12.7 km
開通	: H14.20 (天応西～呉)
H29交通量	: 12,600～13,800台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 3回(計約3,994時間)
本線事前通行規制	: 150mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの



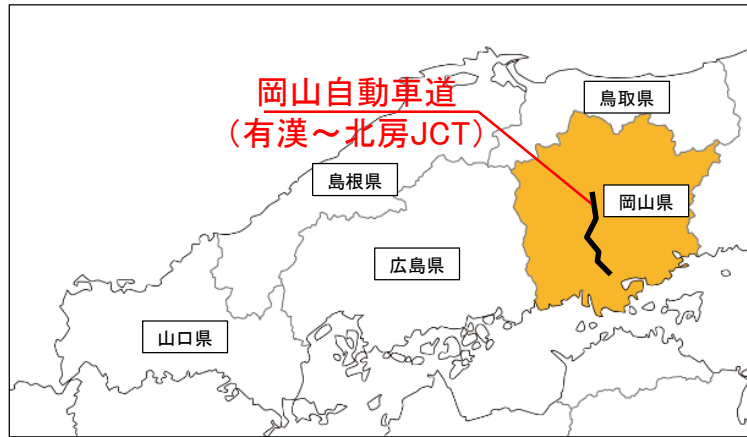
被災年月日:平成30年7月6日  
通行止め:84日間



事業費:730億円



# 岡山自動車道(有漢～北房JCT)



**【凡例】**

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 付加車線(事業中)
- 事業箇所

岡山自動車道 (有漢～北房JCT)	
延長	: 8.4 km
開通	: H9.3.15
H29交通量	: 9,300台/日
災害通行止め実績	: 4回 (計 約209時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 140mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの



《被災箇所》

《法面危険箇所》



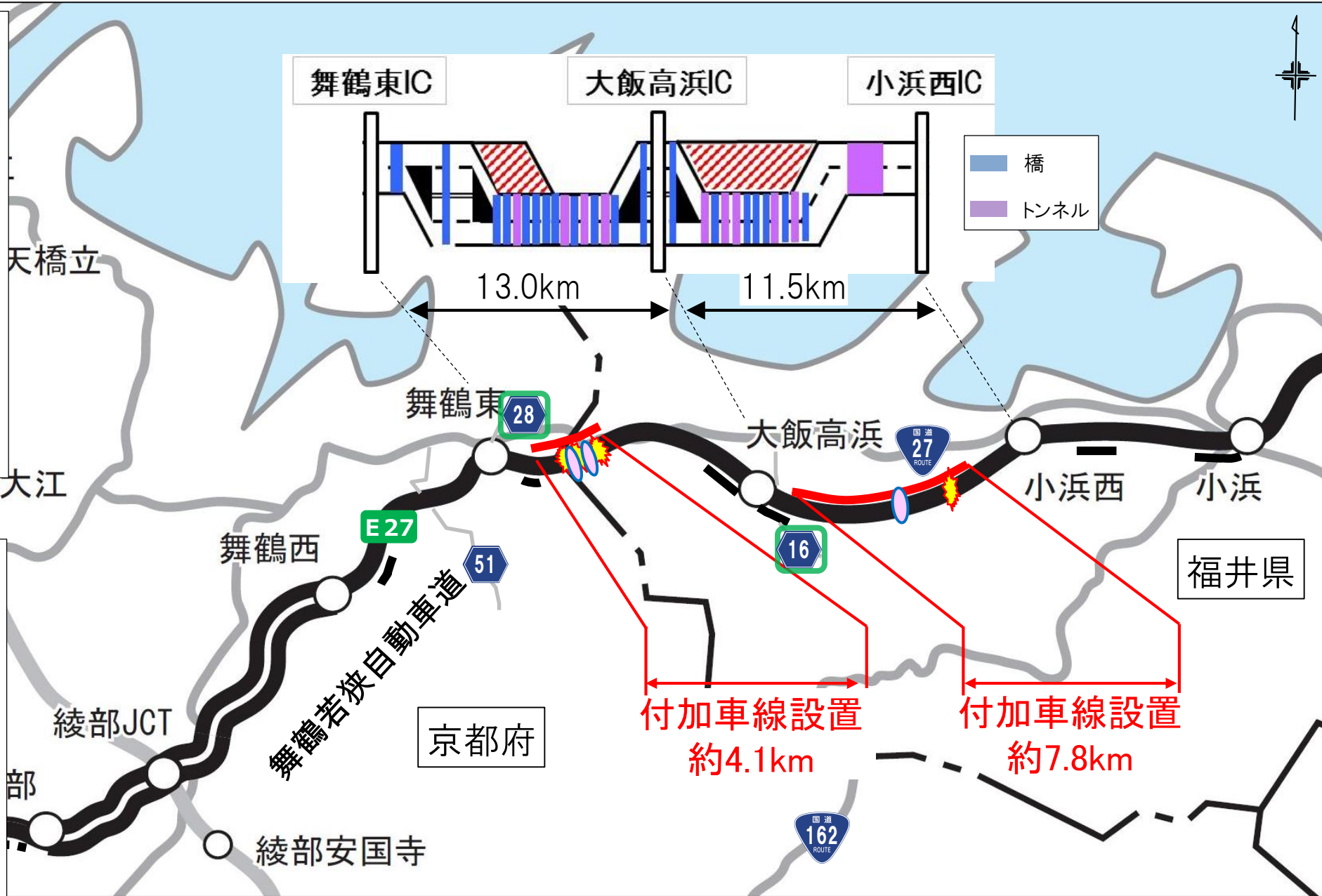
被災年月日:平成24年7月10日  
通行止め:4日間

**事業費:170億円**

**付加車線設置に伴い、整備計画を変更予定**

# 舞鶴若狭自動車道(舞鶴東~小浜西)

## 舞鶴若狭自動車道 (舞鶴東~小浜西)



### 【凡例】

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 事業箇所

《被災箇所》



被災年月日:平成29年10月22日  
通行止め:2日間



被災年月日:平成16年10月21日  
通行止め:2日間

《法面危険箇所》

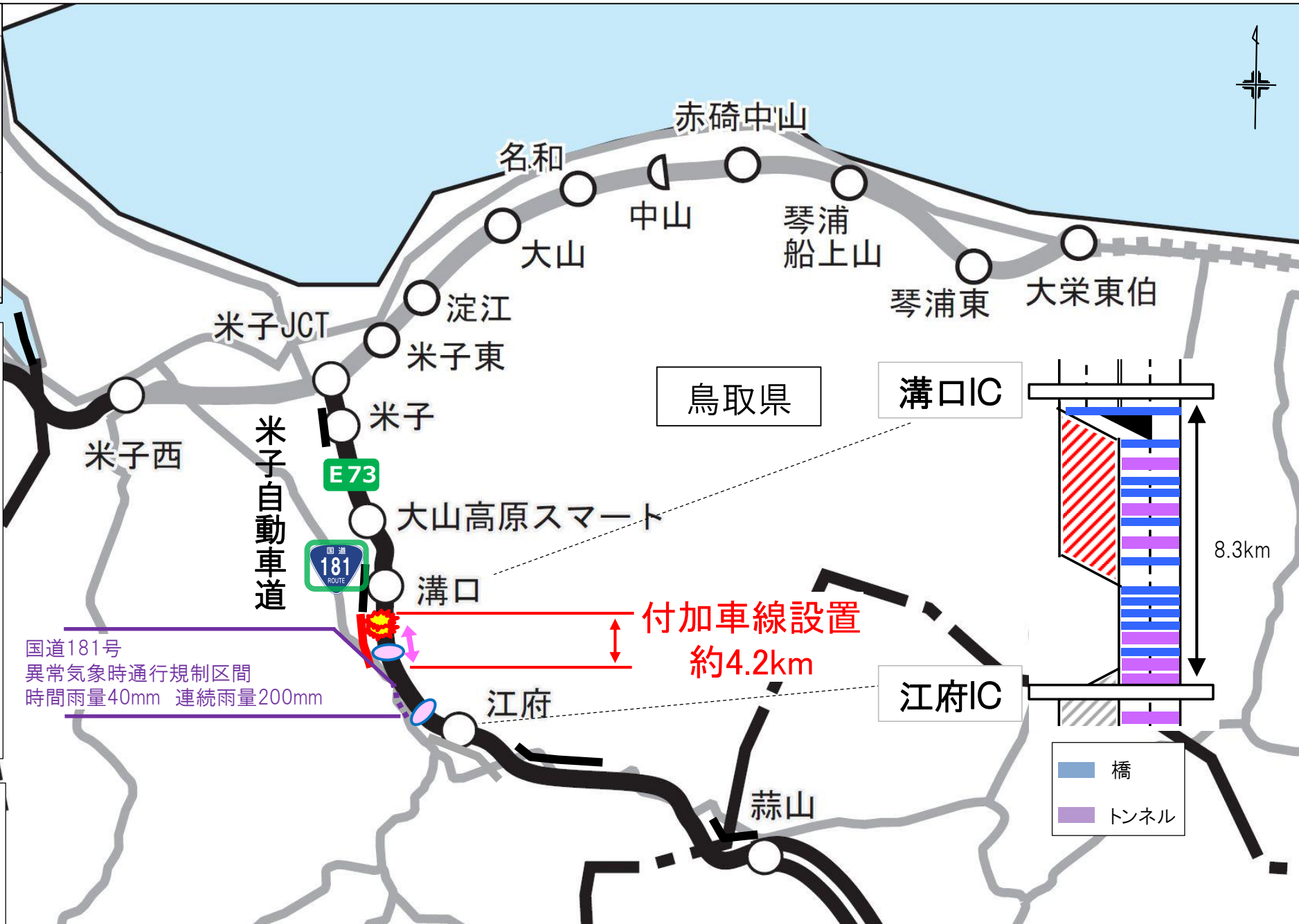


## 舞鶴若狭自動車道 (舞鶴東~小浜西)

延長 : 24.5 km  
 開通 : H15.3.9  
 H29交通量 : 5,400~5,800台/日  
 災害通行止め実績 : 2回 (計 約82時間)  
 <H15-H30>  
 本線事前通行規制 : 210mm (連続雨量)

**事業費:630億円**

# よなご 米子自動車道(江府～溝口)



**【凡例】**

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 付加車線(事業中)
- 事業箇所
- 主な速度低下箇所

米子自動車道 (江府～溝口)	
延長	: 8.3 km
開通	: H1.12.14
H29交通量	: 7,400台/日
災害通行止め実績	: 1回 (計 約12時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 150mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

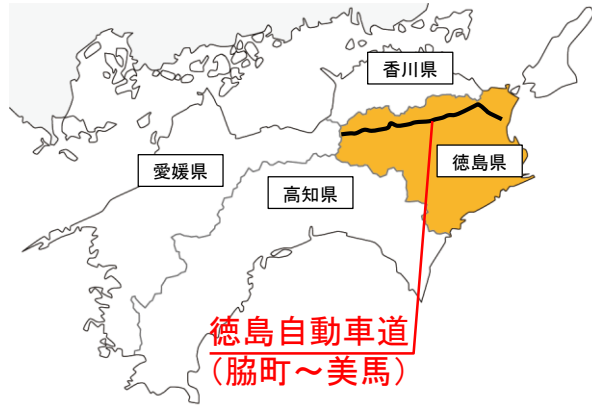


被災年月日:平成25年7月15日  
通行止め:12時間



事業費:270億円 10

# 徳島自動車道(脇町～美馬)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 付加車線(事業中)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所

徳島自動車道(脇町～美馬)	
延長	: 11.5 km
開通	: H9.12.3
H29交通量	: 9,200台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 0回(計約0時間)
本線事前通行規制	: 250mm(連続雨量)

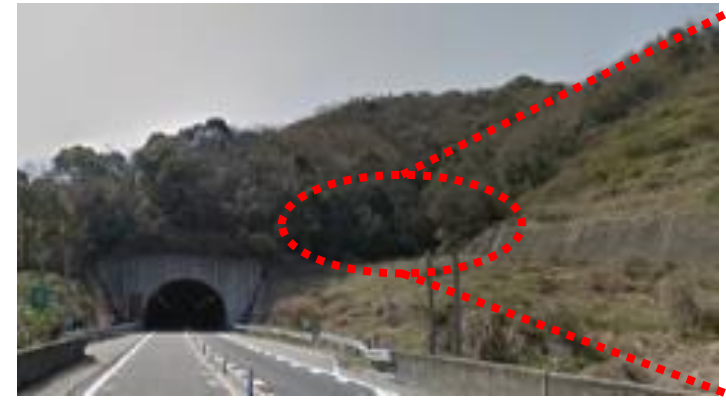
連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所》



法面崩壊

《法面危険箇所》



転石

被災年月日:平成30年10月10日

事業費:200億円

# 松山自動車道(内子五十崎~大洲)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 付加車線(事業中)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所



松山自動車道 (内子五十崎~大洲)	
延長	: 7.8 km
開通	: H12.7.28
H29交通量	: 11,700台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 2回 (計 約7時間)
本線事前通行規制	: 190mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所》



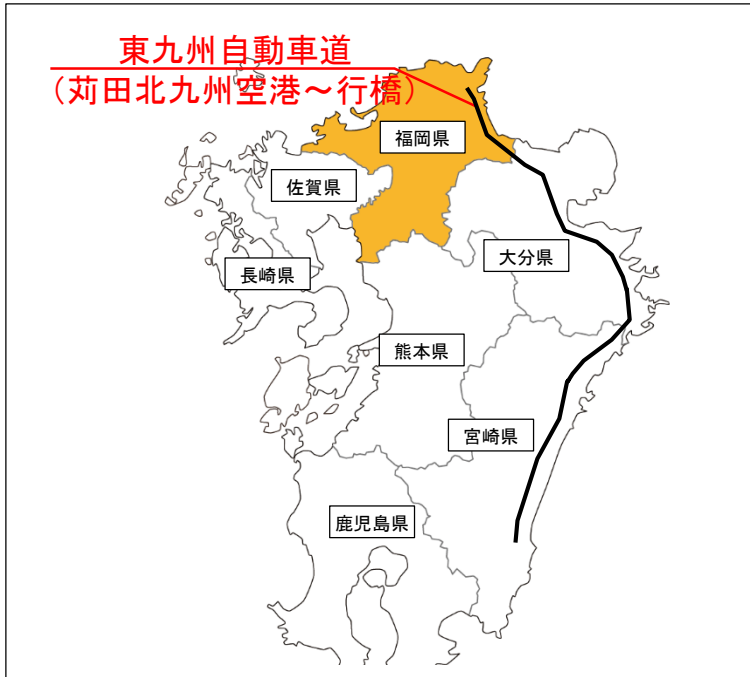
被災年月日:平成27年12月11日  
通行止め:4時間

《法面危険箇所》

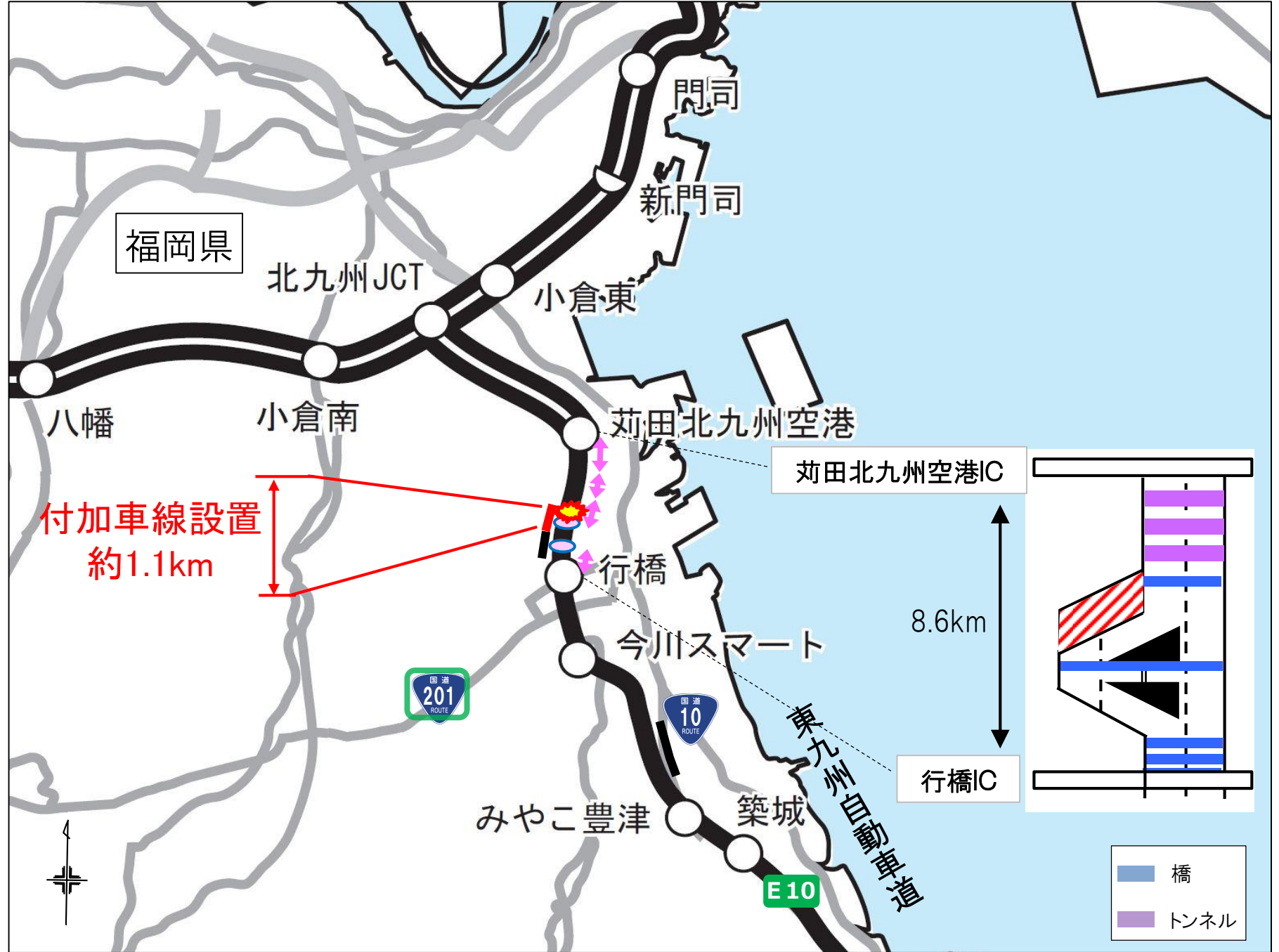


事業費:200億円

# 東九州自動車道(苅田北九州空港～行橋)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所



東九州自動車道 (苅田北九州空港～行橋)	
延長	: 8.6 km
開通	: H26.3.23
H29交通量	: 14,500台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 1回 (計約17時間)
本線事前通行規制	: 200mm (連続雨量)

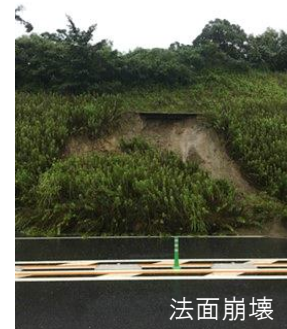
連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所》



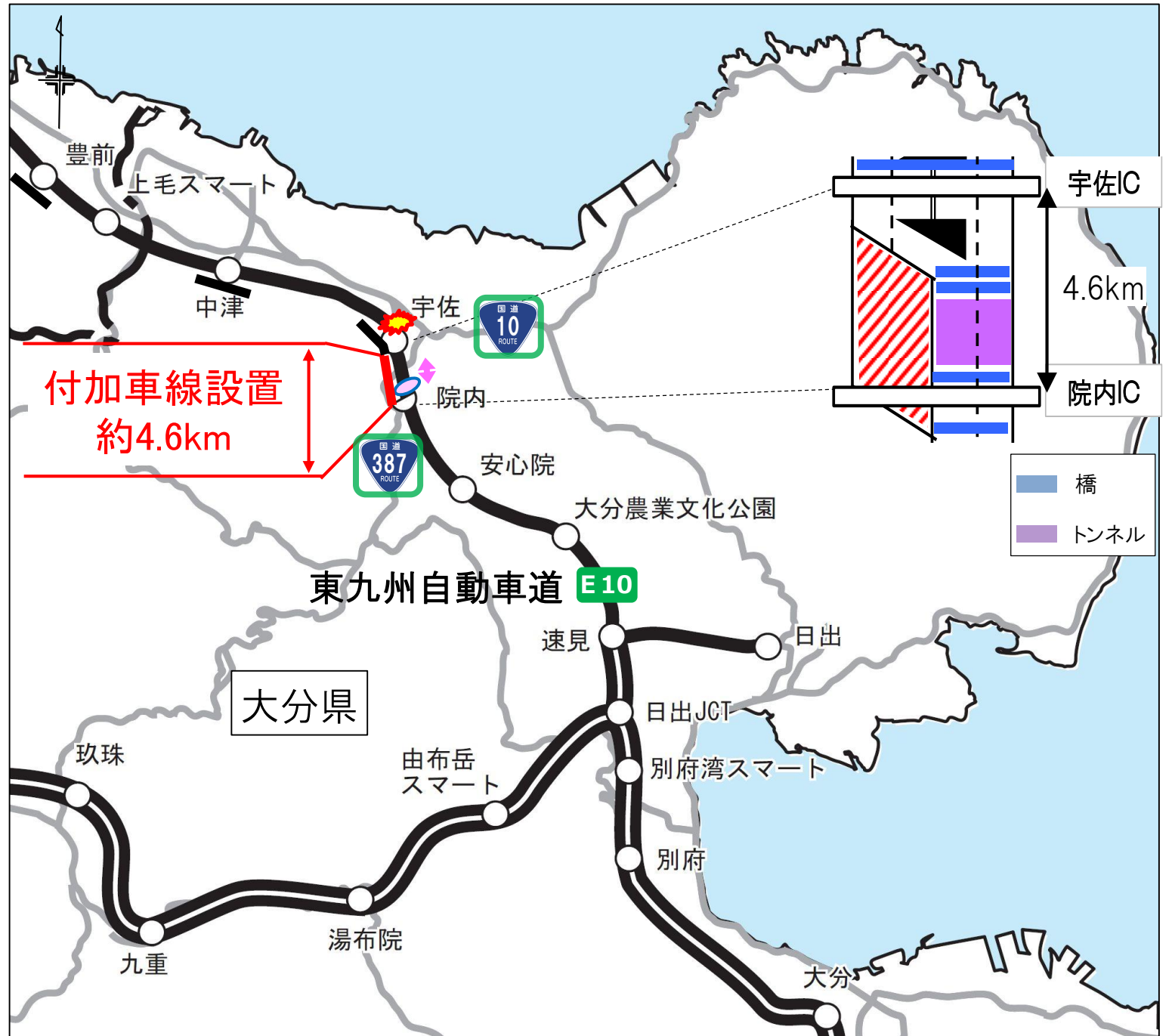
被災年月日:平成29年7月7日  
通行止め:17時間

《法面危険箇所》



**事業費:50億円**

# 東九州自動車道(宇佐～院内)



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所

東九州自動車道 (宇佐～院内)	
延長	: 4.6 km
開通	: H6.12.15
H29交通量	: 11,600台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 0回 (計 約0時間)
本線事前通行規制	: 350mm (連続雨量)

《被災箇所》



《法面危険箇所》



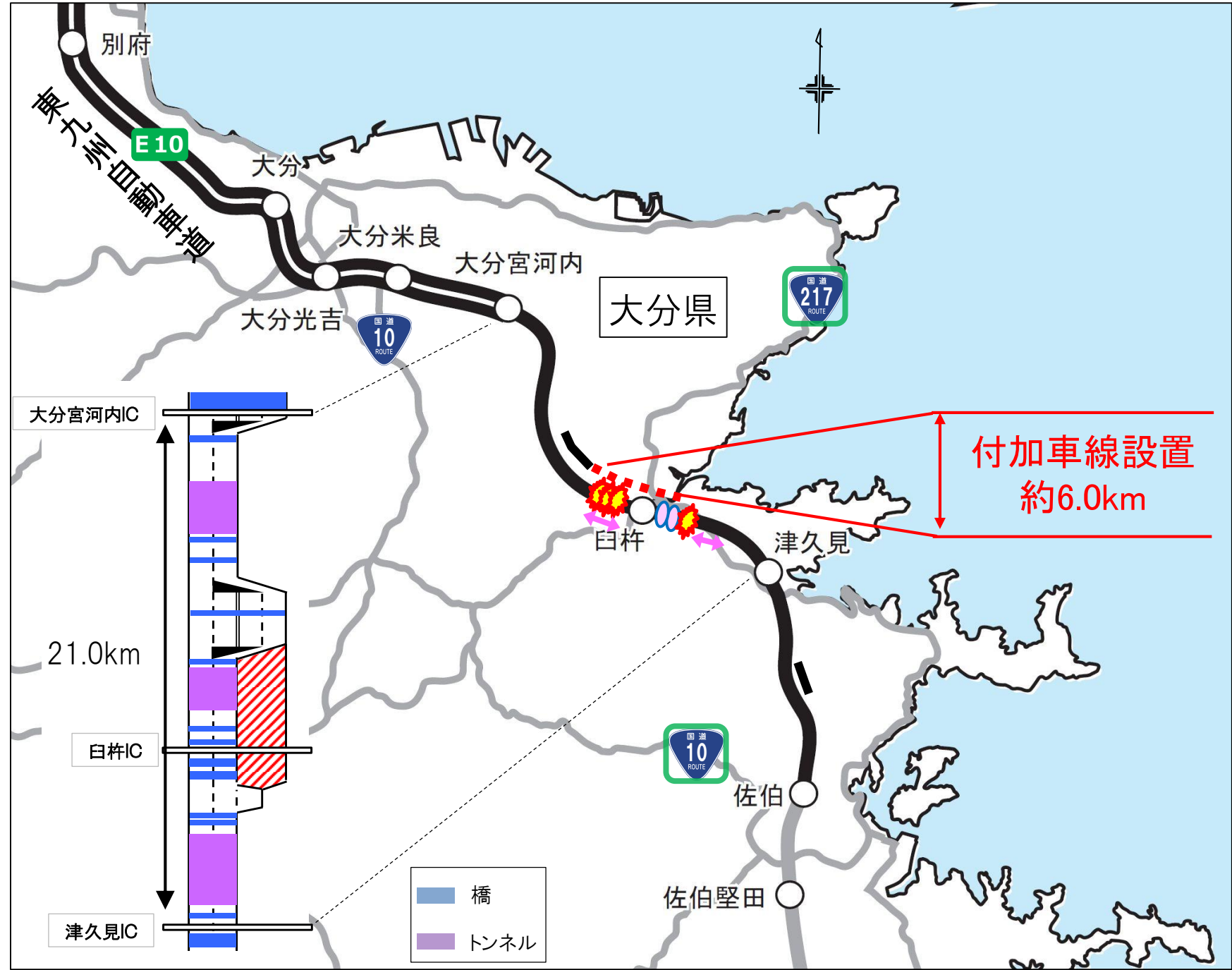
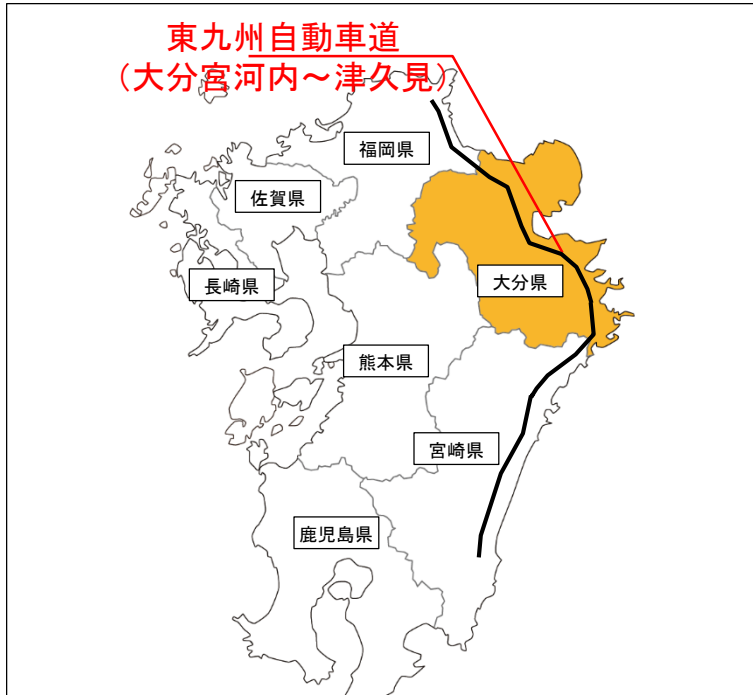
被災年月日:平成15年8月8日

**事業費:210億円**

連続雨量はH30.6月時点のもの

# 東九州自動車道(大分宮河内～津久見)

ひがしきゅう しゅう おおいた みや がわ うち つく み



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所
  - 主な速度低下箇所

東九州自動車道 (大分宮河内～津久見)

延長 : 21.0 km

開通 : H13.12.27

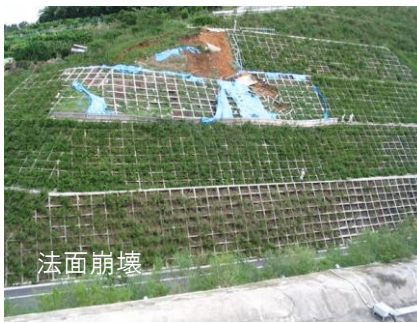
H29交通量 : 12,000～14,000台/日

災害通行止め実績 : 7回 (計約262時間)  
<H15-H30>

本線事前通行規制 : 360mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所》



被災年月日:平成17年9月6日  
通行止め:7日間

《法面危険箇所》



**事業費:290億円**



ひがしきゅう しゅう みや ざき にし きよ たけ  
**東九州自動車道(宮崎西～清武)**



- 【凡例】
- 被災箇所
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所(高速本線)
  - 重要インフラ緊急点検  
法面危険箇所がある並行現道
  - 付加車線(設置済)
  - 事業箇所

東九州自動車道 (宮崎西～清武)

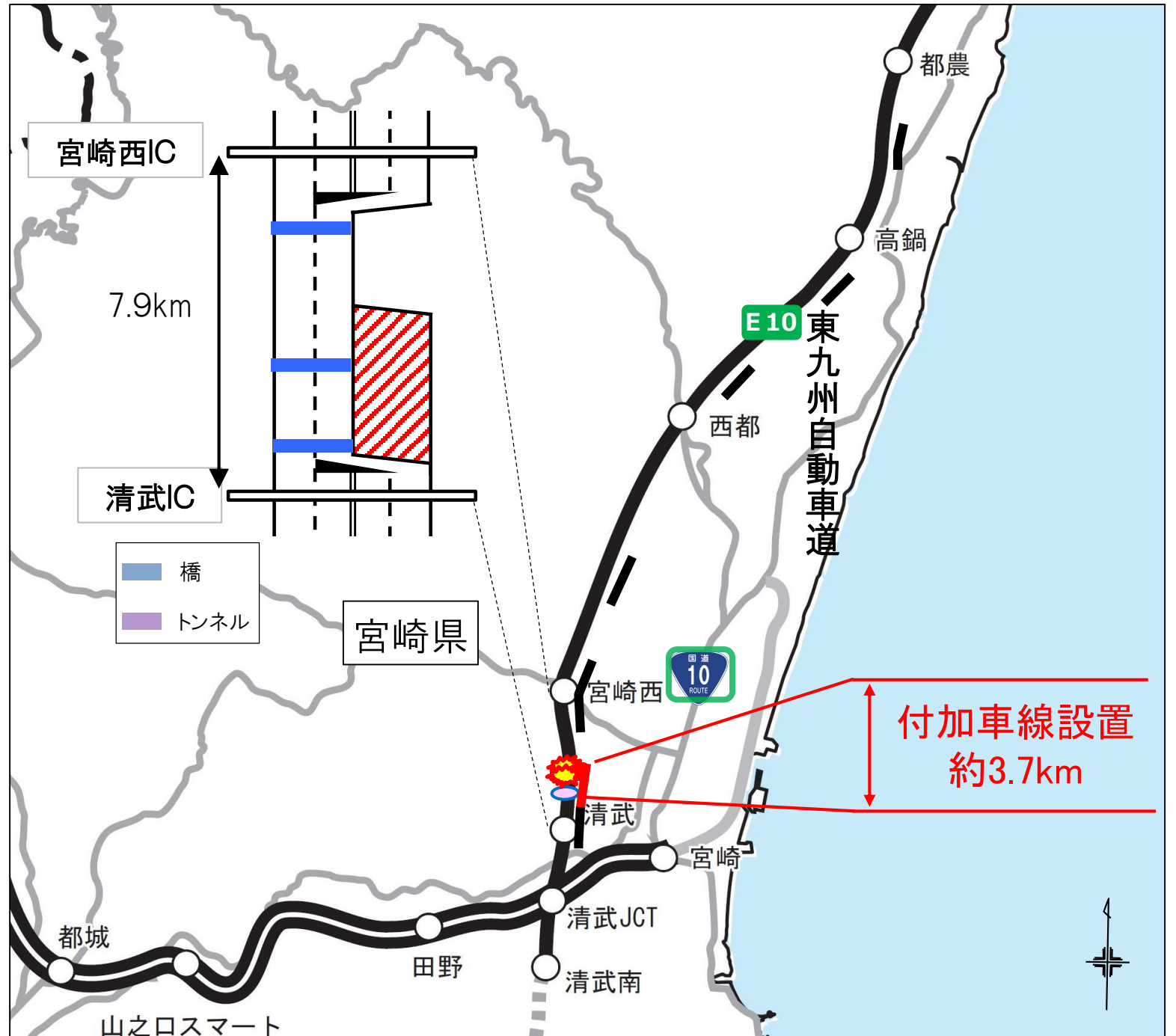
延長 : 7.9 km

開通 : H12.3.25

H29交通量 : 6,900台/日

災害通行止め実績 : 3回 (計約131時間)  
<H15-H30>

本線事前通行規制 : 300mm (連続雨量)



《被災箇所》



被災年月日:平成19年7月13日  
 通行止め:3日間

《法面危険箇所》



**事業費:150億円**

連続雨量はH30.6月時点のもの